

# 光受寺通信

私は恥ずかしながら、ブログを書いています。書き始めて今日(14日)で11年と72日が経ちました。その間に845のブログを書きました。平均すれば5日に一度は書いていたことになります。書くきっかけは、光受寺のホームページを作成していただいた先生からの勧めがあったからなのです。

書いていることはたわいもないことばかり。誰かに読まれるととても恥ずかしいのですが、ネットで公開するという大胆なことまでやっているのです。これは自分をさらけ出すことで、良いも悪いも自分に責任をもって生きたいという強い思いがあったからなのです。

10年前はどんなことを思っていたのだろうか。久しぶりにネットで振り返ってみました。2012年11月30日の記事です。(単なる思い出ではなく、自己再確認ためでもあります)。

今日報恩講に向けての準備として「おみがき」がおこなわれました。午前9時からお昼までの間でしたが、重たく大きな仏具をごしごしと磨いていただきました。おかげさまで報恩講の最初の準備が整ったことになります。

若い女性も、足が痛くて正座できない方も、男性2名を含めて18名ほどの方が黙々と磨いてくださいました。一年間の仏具の汚れを落とすのは結構大変なこと。最近は汚れを落とすのに、簡単な薬剤もあって便利ではありますがこうして一つひとつの仏具を布でごしごしと磨くのも、意味のあることなのだと思います。

お荘厳(おしょうごん)。仏華や香も蝋燭も、そしてこの皆様の御心も一緒に報恩講のお荘厳としてお内陣を整えていくのです。報恩感謝。この思いを込めて汗してくださった皆様の労力には、布施としての意味合いも込められた輝きがあるように思えたことでした。寺役で一緒にできなかったお磨きでしたが、本当にありがたいことでした。もし、日曜日などにできる機会があれば子供たちにも参加させてやりたいものだと思ったりもするのです。来年以降は、親子で参加ということもありかなと、思ったり・・・。うーん、いいかも。(お孫さんも一緒にいかがでしょう)。

令和4年 報恩講 十二月十一日(日)

長引いている「コロナ」の流行で、日常生活も「ウィズコロナ」の方向での対応が進んでいるように思えます。基本的な予防策を徹底しながら徐々に終息を目指していこうということなのでしょう。

光受寺の年中行事におきましても、「この数年は例年通り」という具合には行きませんでした。残念ながら本年最後の行事である報恩講も例外ではなくなりました。

従いまして、本年度の報恩講も、次のような日程により執り行うことにいたしますのでよろしくお願いいたします。

予定(日程)

午前 九時～十時

勤行

〃 十時～十一時十五分

法話 倉住 秀悟師

休憩

〃 十一時三十分～

総会

役員交代・新役員紹介あり

〃 十二時三十分～

総会終了後解散 役員・地区役員は後片付け

終了

(役員交代・新役員紹介あり)

なお、総会には地区役員様はご出席いただきませんように、よろしくお願いたします。都合によりご出席いただけない場合には、その旨ご連絡いただき、各地区ご門徒様への配布物の受け取りを、当日中に行っていたいただきますようよろしくお願いいたします。

みな様の「ご参詣をお待ちいたしております。」

合掌

本年の除夜の鐘は中止いたします。



# 今月の掲示板



福祉の話題は、皆さん身近な問題として関心を持たれ、真剣に聞いていらっやいました。

踏み出せば

その一歩が

道となる

アントニオ猪木

自分の正しを

疑えるうちは

まだあなたは

大丈夫。

福岡 多福寺

去る十一月十日(金) 午後2時〜3時半光受寺本堂において「お寺サロン」を行いました。

寺町にはお寺が多くあることから、お寺を活用して何かできないかと当寺の若院が呼びかけ人となって始めた活動のようです。

かつてのお寺は何かと人が集まり、交流の場でもあったことから、今の寺の現状を見てみると、とてもさみしい思いにもなるのかもしれませんが。第一回目の今回は、廣専寺の若院さんとの2ヶ寺だけでの企画運営となったようですが、9名の参加があり、まずまずの滑り出しであったように思います。

約一時間半ほどでしたが、廣専寺の若院さんの仏教小断、当院の麻梨絵の福祉に関する話など、質問時間も設け、お茶を楽しみながら交流を深めることができました。次回は廣専寺さんで行われるようです。ぜひご参加を！

私たちは時として、他人との意見の違いから、自分の正しさを絶対とし、主張し続けることはよくあることです。互いに主張し続けられどごまでも平行線が続き、解決の糸口が見えてきません。

そんな時には、一度冷静になって改めて自分を振り返ってみることも必要ではないでしょうか。

所詮は凡夫の身を生きている私たちです。仏法に照らし合わせてみることも大切なことなのでしよう。

## 新コーナー

十二回連載

樹林

宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年立教開宗協賛テーマ  
南無阿弥陀仏 人と生まれたことの意味をたずねていこう

— 問い続ける歩みをとまじり —

8回目



## こころの散歩

### 天台本覚思想

鎌倉仏教を貫く思想に「天台本覚思想」があります。浄土宗・禅宗・日蓮宗など鎌倉期に興った仏教は共通して、この天台本覚思想を受け継いでいます。

本覚とは大まかに言えば、自分には本来仏性が具わっていることを覚ることです。原点は「大乘起信論」のようですが、標語的な言葉として「草木国土悉皆成仏」が知られています。人間はもとより、草木にも、さらに土石にまで仏性が具わっていると言っているのです。これも御仏の慈悲として受け取るべき、自然界に行き渡る広大な仏の慈悲の世界が見渡せるようになります。浄土真宗もこの思想をベースにしており、親鸞聖人が最晩年に到達された「自然法爾」も本覚思想に端を発していることが了解できます。

私もこの際、天地満ちる広大な慈悲を仰ぎ、信を篤くしていきたいと思います。



光受寺御遠忌法要

### 光受寺学習会・金曜喫茶

十一月はお休みとなります。

来年は2月から開始しますが、時間等変更があるかもしれません。改めにご連絡します。